

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	露語第二		
英文授業科目名	Elementary Russian II		
開講年度	2004年度	開講年次	1年次
開講学期	2学期	開講コース・課程	夜間主コース
授業の方法		単位数	1
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化応用科目 I		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	斉藤 毅（学内連絡教官 三浦 清美）		
居室			

公開E-Mail	授業関連Webページ
ZVT03146@nifty.ne.jp	

【主題および達成目標】
この授業は前学期の「露語第一」の続編の授業です。詳しくは「露語第一」の項をご覧ください。

【前もって履修しておくべき科目】
露語第一

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
なし

【教科書等】
教科書：黒田龍之介『ロシア語文法への旅』（大学書林）参考書：米重文樹『パスポート初級露和辞典』（白水社）

【授業内容とその進め方】
授業は「露語第一」と同じやり方で進めます。この「第二」（すなわち後学期）の授業では、教科書の第12課まで進むことを目安とします。

電気通信大学 平成16年度シラバス

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

(a) 評価方法 1) 平常点(出席、授業時に行なう小テスト、授業での参加態度など) 50% 2) 学期末試験 50% (b) 評価基準 以下の到達レベルをもって合格の最低基準とします: 1) 毎回の授業に出席し、課題をきちんとこなしている 2) ロシア語の文字を自由に発音し、書くことができる 3) 学習した範囲の文法事項を理解している 4) 学習した範囲の単語の意味が分かる

【オフィスアワー: 授業相談】

質問・相談は授業終了後に受けつけますので、遠慮なく来てください。とくに時間が必要な場合は、事前にメールにてご一報ください。

【学生へのメッセージ】

絶対に途中であきらめず、無理をしてでも出席を続けるという心構えでいてください。これが外国語習得には大切なことです。

【その他】